資料②－1

推進体制について（審議員、えこっち・やす 意見一覧）

			審議員等の意見	野洲市の対応
①	島田委員	５月12日審議会	素案の第１章に市・市民・事業者の役割が記載され、第６章でも、えこっち・やす・市・市民・事業者が説明されている。整合性を持った書き方にする方がよいかと思う。	第２章でえこっち・やすの説明を掲載し、第６章で、市・市民・事業者、えこっち・やすの具体的な役割が明記する。
②	平岡委員	1月29日審議会	環境基本計画推進会議のこれからの関わりとか、存在、役割とか、市役所とどのように協働していくかという話はされていますか。	えこっち・やす運営委員会を５月～7月に開催し、資料②-2の案を作成。
③	平岡委員	５月12日審議会	先ほど場が必要だと言ったが、今度は場があっても、それが機能するための仕掛けとか、仕組みがないと、そこはぜひ機能する仕掛け、仕組みっていう部分を意識していただきたい。お金が出せるようであれば、人を雇って、コーディネーター役を担っていただけるのが、理想ではあるが、いろんなやり方があり、それを環境基本計画に書けないこともあると思うが、機能するための仕組みづくり、仕掛け作りが必要である。 また、何のために協働するのかという位置づけがまず必要なのかとも思う。	えこっち・やす運営委員会を５月～7月に開催し、資料②-2の案を作成。
④	林委員	1月29日審議会	「えこっち・やす」が野洲市の真ん中ですべてをコントロールするというような推進体制に対して、骨子案の４頁のところで「えこっち・やす」が追記され野洲市がそのままで協働と書いてあるが、ここのコントロールを誰がするのだろうかと思う。野洲市が真ん中にいてコントロールするのが自然だと思う。今の実態が分からないと議論できないと思うので、現場の意見を聞くということもよいかと思う。	えこっち・やす運営委員会を５月～7月に開催し、資料②-2の案を作成。
⑤	えこっち・やす運営委員会	運営委員会	現計画の図が機能しているのであればベストと考えるが、一方で現状では、えこっち・やすの高齢化、担い手不足もあり、現計画の図で示す機能を果たすことが難しいため、事務局案で進めることは良いと思う。しかし、企業の動きを把握する等、行政が積極的に動いていただくことはしていただきたい。事務局案の団体１つ１つをどう繋ぐかが重要になると考える。	えこっち・やす運営委員会を５月～7月に開催し、資料②-2の案を作成。